Panasonic®

ＨＩＤダウンライト（一般屋内用）
（ランプ縦向き用）

取扱説明書

保管用

品　番	埋込穴径(㎜)	本体ユニット	組合せ品名	適合ランプ（指定）
NC09151BP9	φ125	NK07638	ダウンライトＮＮＣ1101	セラメタ１５０形(拡散形)　ＭＴ150ＦＣＥ-ＬＷ-2 ＭＴ150ＦＣＥ-ＷＷ-2 ＭＴ150ＦＣＥ-Ｗ-2
	φ150	NK07610	ダウンライトＮＮＣ1110	セラメタ１５０形(拡散形)　ＭＴ150ＦＣＥ-ＬＷ-2 ＭＴ150ＦＣＥ-ＷＷ-2 ＭＴ150ＦＣＥ-Ｗ-2
		NK07611	ダウンライトＮＮＣ1111	
		NK07613	ダウンライトＮＮＣ1113	
		NK07641	ダウンライトＮＮＣ1161	
		NK07643	ダウンライトＮＮＣ1163	
		NK07611W	ダウンライトＮＮＣ1111Ｗ	セラメタ１５０形(透明形)　ＭＴ150ＣＥ-ＬＷ-2 ＭＴ150ＣＥ-ＷＷ-2 ＭＴ150ＣＥ-Ｗ-2
		NK07613W	ダウンライトＮＮＣ1113Ｗ	
	φ175	NK07621	ダウンライトＮＮＣ1121	セラメタ１５０形(拡散形)　ＭＴ150ＦＣＥ-ＬＷ-2 ＭＴ150ＦＣＥ-ＷＷ-2 ＭＴ150ＦＣＥ-Ｗ-2
		NK07623	ダウンライトＮＮＣ1123	
		NK07651	ダウンライトＮＮＣ1171	
		NK07653	ダウンライトＮＮＣ1173	
		NK07621W	ダウンライトＮＮＣ1121Ｗ	セラメタ１５０形(透明形)　ＭＴ150ＣＥ-ＬＷ-2 ＭＴ150ＣＥ-ＷＷ-2 ＭＴ150ＣＥ-Ｗ-2
		NK07623W	ダウンライトＮＮＣ1123Ｗ	
	φ200	NK07678	ダウンライトＮＮＣ1181	セラメタ１５０形(拡散形)　ＭＴ150ＦＣＥ-ＬＷ-2 ＭＴ150ＦＣＥ-ＷＷ-2 ＭＴ150ＦＣＥ-Ｗ-2
	φ250	NK07650	リフタダウンライトＮＮＣ1100	セラメタ１５０形(拡散形)　ＭＴ150ＦＣＥ-ＬＷ-2 ＭＴ150ＦＣＥ-ＷＷ-2 ＭＴ150ＦＣＥ-Ｗ-2

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

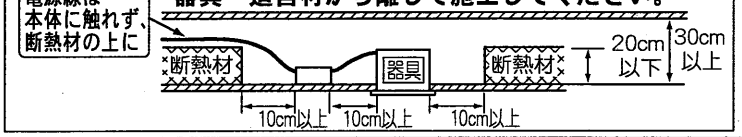
施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 危険

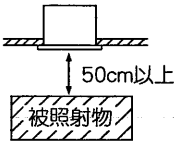
●断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

断熱材・防音材を使用する場合、下図の様に器具・造営材から離して施工してください。



⚠ 警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行なう。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。　火災・感電・落下の原因となります。
●ロックウール等の柔らかい天井に取り付けない。　器具落下・天井材破損の原因となります。
●天井埋込専用器具です。壁取付けや天井直付けおよび傾斜天井には取付けない。火災・落下の原因となります。
●器具の取り付け部以外の本体外郭が天井内の造営材やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。火災の原因となります。
●必ず表示された定格電圧（100～242）±6%の電源電圧で使用する。火災・感電の原因となります。
●器具と被照射面は50cm以上離す。　火災・変色の原因となります。
●器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。



⚠ 注意

●一般屋内用器具です。直接日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所腐食性ガスの発生する場所では使用しない。
火災・感電・落下・サビの原因となります。
●軒下、屋外側通路等の雨の吹き込みを受ける場所では使用しない。　火災・感電・落下・サビの原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃以外では使用しない。　火災またはランプの短寿命の原因となります。
●ライトコントロールを併用して使用しない。　火災の原因となります。

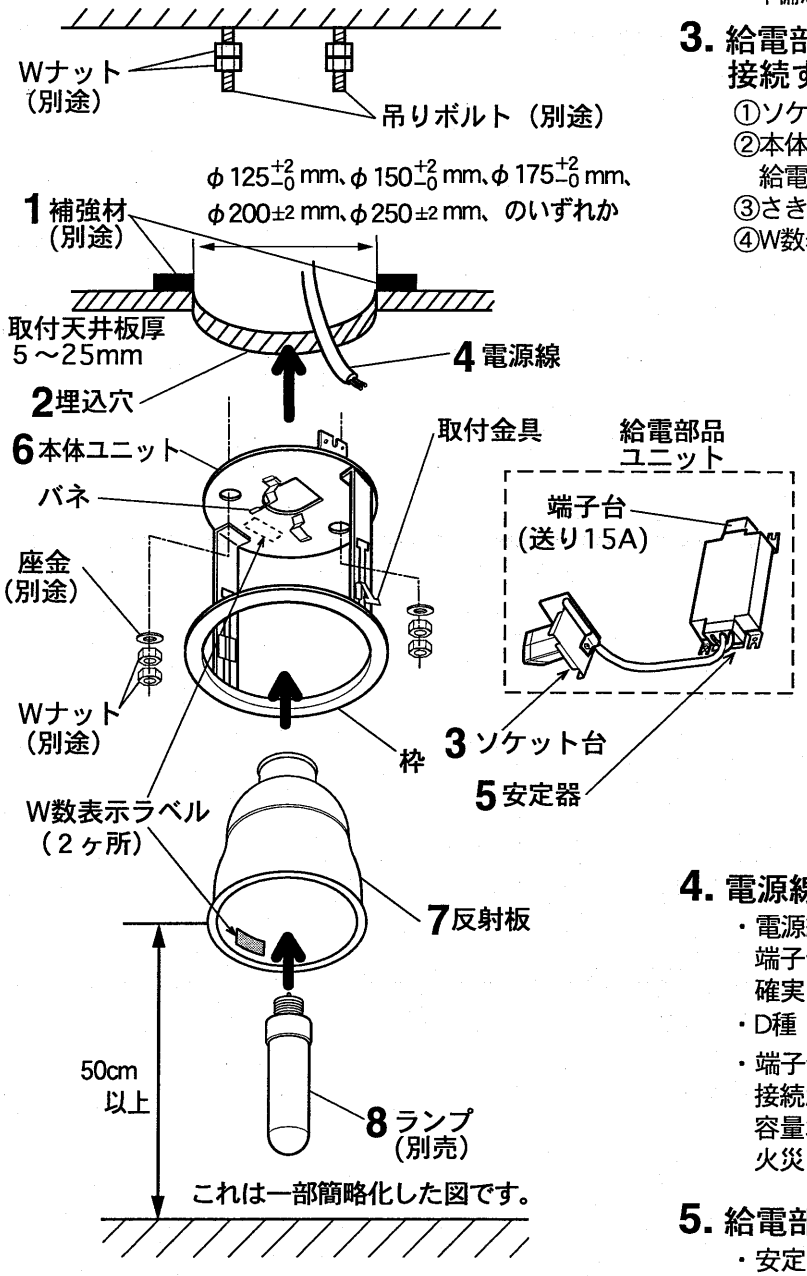
取説No.NC09151-T3C5

施工上のご注意

●取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。　サビや変色の原因となります。
●漏洩ブレーカーの感度電流を設定する場合は、下記のことに注意する。漏洩ブレーカーの誤作動の原因となります。
1）ランプ点灯時よりも無負荷時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
2）単相３線200Vで片切スイッチを使用する場合は、ランプ点灯時よりも消灯時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
注）無負荷時の漏洩電流の設定は、点灯時の漏洩電流測定後に下記の方法で行なってください。
・消灯後、（ランプ装着状態で）約5秒後にスイッチを入れ、点灯（放電）開始までの間に測定する。
（周囲環境により異なりますが、点灯（放電）開始までに5～３0分かかります。）

各部のなまえと取付け方

ロックウール等の柔らかい天井及び
珪酸カルシウム板の天井に取付ける場合は、
必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板・木片等）を入れてください。
補強材のない場合、光モレの原因となります。
※NK07638、NK07678はボルト吊り取付けできません。



⚠ 警告	照射物・照射面との距離は、50cm以上離してください。被照射物の火災・変色の原因となります。

1. 取付け前の確認をする

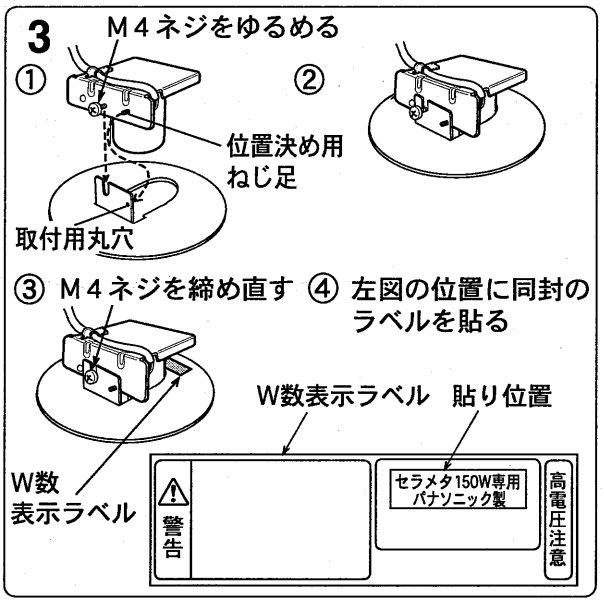
・器具質量（約1.7kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備がありますと、器具落下の原因となります。

2. 天井に本体ユニットサイズに応じてφ125+2 0 mm、φ150+2 0 mm、φ175+2 0 mm、φ200±2 mm、φ250±2 mmのいずれかの埋込穴をあける

不備がありますと、器具落下・天井と枠の隙間の原因となります。

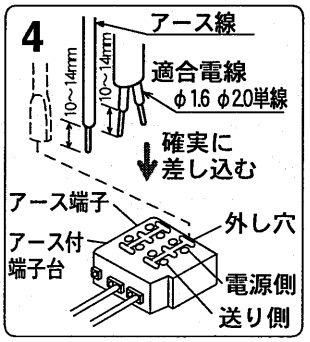
3. 給電部品ユニットのソケット台と本体ユニットを接続する

①ソケット台にあるM4ねじを緩めておく。
②本体ユニットの取付用丸穴に
給電部品ユニットの位置決め用ねじ足を奥まで入れる。
③さきに緩めたM4ねじで本体ユニットを確実に締め直す。
④W数表示ラベルの上に同封のラベルを貼り付ける。(2ヶ所とも)



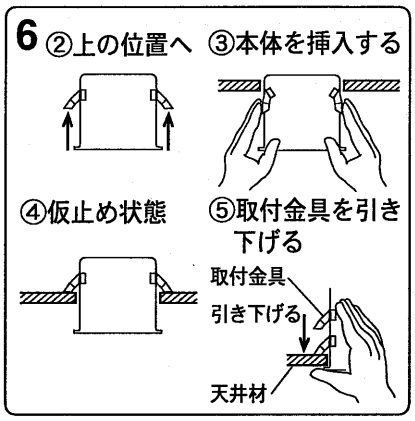
4. 電源線を端子台に接続する

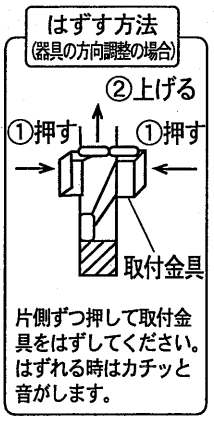
・電源線、アース線を
端子台の差し込み穴の奥まで
確実に差し込む。
・D種（第3種）接地工事を行う。
・端子台の送り容量は15Aです。
接続が不完全な場合、
容量オーバーした場合、
火災・感電の原因となります。



5. 給電部品ユニットの安定器を設置する

・安定器を天井内の平らな所に横転・逆転しないように
設置してください。
・不安定な場所や横転・逆転の恐れのある場所に設置する
場合は、安定器をネジ(別途)で固定してください。
異常設置の場合、器具故障の原因となります。





6. 本体ユニットを取付ける（ボルト吊り時の取付けは下図参照）

①本体ユニットからいったん反射板をはずす。
②取付金具を本体上部にとどめておく。
③取付金具を内側に押えながら、天井に挿入する。
④仮止め状態とする。
⑤取付金具を引き下げて、本体を確実に固定する。

不備がありますと、落下の原因となります。

7. 反射板を取付ける

・反射板をまっすぐに押し上げてください。
ばねで固定されます。
不備がありますと、落下の原因となります。

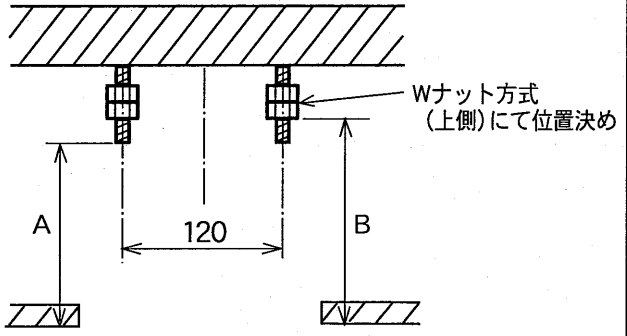
8. ランプ（別売）を確実に取付ける

・ランプをソケットに最後まで確実にねじ込んでください。
ランプのねじ込みが不十分な場合、落下・故障の原因となります。

ボルト吊り時の取付方法

6

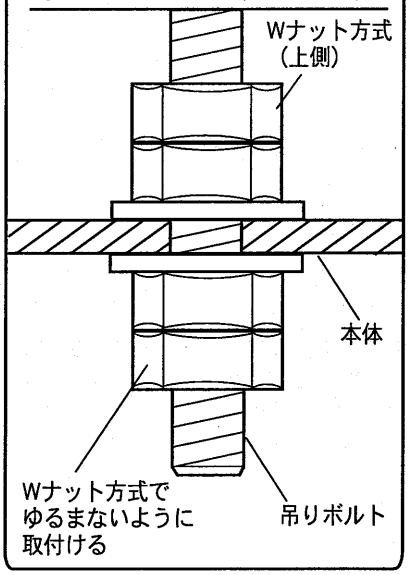
ボルト吊り時取付け寸法



本体ユニット	組合せ品名	A(mm)	B(mm)
NK07611 NK07641 NK07611W	ダウンライトNNC1111 ダウンライトNNC1161 ダウンライトNNC1111W	110±10	140±2
NK07613 NK07643 NK07613W	ダウンライトNNC1113 ダウンライトNNC1163 ダウンライトNNC1113W	130±10	160±2
NK07621 NK07651 NK07621W	ダウンライトNNC1121 ダウンライトNNC1171 ダウンライトNNC1121W	115±10	145±2
NK07623 NK07653 NK07623W	ダウンライトNNC1123 ダウンライトNNC1173 ダウンライトNNC1123W	140±10	170±2
NK07610	ダウンライトNNC1110	110±10	145±2

※NK07638、NK07678はボルト吊り取付けできません。

吊りボルト・ナット部詳細



⚠ 注意	施工に不備がありますと、本体ユニットが変形し、反射板が落下の原因となります。

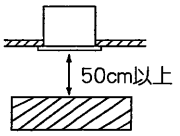
取扱説明　**お客様へ　この説明書は必ず保管してください。**

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●**器具の改造および構成部品(ソケットなど)の交換をしない。**　火災・感電・落下の原因となります。
●**布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。**　火災の原因となります。
●**異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。**　火災・感電の原因となります。
●**器具と被照射物との距離は50cm以上離す。**　被照射物の火災・変色の原因となります。
●**器具表示及び取扱説明書にしたがって、指示されたランプを使用する。**
指定以外のランプを使用すると、火災やランプ破損の原因となります。



⚠ 注意

●**器具の下に温度の高くなる物(ストーブ・ガスレンジ等)や湿気の発生させる物を置かない。**火災の原因となります。
●**点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらない。**ランプ及びその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。
●**照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。**
点検・交換してください。　**※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。**
・**周囲温度温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。**
・**1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。**　点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

使用上のご注意

●**光りの影響を受けやすい商品（毛皮・呉服・絵画等）には、長時間使用しないでください。**変損色の原因となります。
●**ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。**
雑音な入ったり、正常に動作しない場合があります。
●**同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。**
●**点灯中のランプを消してすぐに電気を入れてから、ランプが始動するまで約10分かかります。**
●**シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。**変色・変質・強度低下による破損の原因となります。
●**アルカリ系洗剤は使用しないでください。**　強度低下による破損の原因となります。

お手入れ・ランプ交換　⚠注意 必ず電源を切って行なってください。感電・火災の原因となります。

〈器具の清掃について〉・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
・シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

〈ランプ交換について〉・交換ランプは器具表示にしたがって指定されたパナソニック製のランプを使用してください。
・ランプをソケットに最後まで確実にねじ込んでください。
ランプのねじ込みが不十分な場合、落下・故障の原因となります。
・ランプを交換後も点灯しない場合は、安全のために安定器が動作停止していることがあります。
電源を一旦切ってから再度電源を入れなおしてください。

⚠ 警告	指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

⚠ 注意
点灯中や消灯直後はランプやランプのまわりをさわらないでください。やけどの原因となります。

保証について

●**この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は3年間です。ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。**
●**保証書について：保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。**
●**補修用性能部品（電気部品）について：弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。**

パナソニック電工株式会社　ナショップ・調光システム事業部　（〒571-8686）大阪府門真市門真1048

S0505-51009